

2019年の通塾生の合否と、第3回全統記述模試の総合偏差値のデータを掲載します。

(○：二次合格 △：一次通過のみ ×：一次通過なし つまり○のみ医学部に進学できたことを示します。)

* 通塾生のみ。途中で通信に切り替えた人、退塾者、長期欠席者は除く。

学年	性別	総合偏差値	合否
3浪	男性	83.3	×
3浪	女性	81.4	○
1浪	女性	75.1	△
2浪	女性	73.4	×
2浪	男性	73.4	×
1浪	女性	71.8	○
2浪	男性	71.6	×
1浪	女性	71.3	○
再受験	男性	70.9	○
2浪	女性	70.5	○
1浪	女性	70.4	×
1浪	男性	69.1	○
2浪	女性	68.7	○
1浪	男性	68.1	○
2浪	男性	67.9	×
5浪	女性	66.4	○
1浪	男性	66.1	○
2浪	男性	65.9	○
1浪	女性	65.7	○
3浪	男性	65.5	○
高3	男性	65.4	×
再受験	男性	65.3	○
高3	女性	65.2	○
2浪	女性	65.2	○
1浪	男性	64.8	○
高3	男性	64.8	○
1浪	男性	63.6	○
1浪	男性	63.3	△
再受験	女性	63.1	○
1浪	女性	62.3	△

2浪	男性	62.1	×
高3	女性	62.1	○
1浪	女性	62.0	○
2浪	女性	61.8	○
高3	男性	61.4	○
2浪	女性	61.4	○
1浪	女性	61.2	△
1浪	女性	60.7	×
1浪	男性	60.5	○
1浪	男性	59.6	○
高3	男性	59.3	×
1浪	女性	59.3	×
2浪	男性	59.3	×
3浪	男性	59.0	×
1浪	女性	57.8	○
1浪	女性	57.2	○
2浪	男性	56.7	○
1浪	女性	56.6	×

体調不良にて#3記述模試を受験できず上記に含まれていない生徒のうち、医学部進学者は再受験男性（参考：河合センタープレ偏差値63.9）、1浪男性（参考：河合センタープレ偏差値62.2）の2名。

他に指定校推薦（現役女性）1名の合計33名が医学部に進学。

集計すると、下記の通り。

- ・ 偏差値70以上 二次合格：5/11（45%） 一次通過：6/11（55%）
 - ・ 偏差値65-70 二次合格：11/13（85%） 一次通過：11/13（85%）
 - ・ 偏差値60-65 二次合格：10/15（67%） 一次通過：13/15（87%）
 - ・ 偏差値55-60 二次合格：4/9（44%） 一次通過：4/9（44%）
- （偏差値60以上 二次合格：26/39（67%） 一次通過：30/39（77%））

上記から、偏差値70以上の生徒の合格率が低いことがわかります。また偏差値60以上70未満の生徒では二次合格21/28（75%）に達し、一次通過では24/28（86%）に達しています。偏差値60未満でも複数の医学部進学者がいることを考えると、自己流の勉強方法や試験の解き方で模試の成績だけとれていても、塾生ページに従った勉強や解き方ができていないと、本番では通用しないことが明確にいえます。逆に塾生ページの指示をしっかりと守れた勉強、解き方が徹底できていれば、非常に高い確率で医学部に進学しています。

注意：偏差値70以上の生徒は国立専願だったり受験校が高かったのでは？と考える人もいるかもしれませんが、全くそんなことはありません。偏差値70以上の不合格者6名の全員が

私立医学部を5校以上受験しており、6名のうち4名は例えば聖マリアンナ医科大学（偏差値62.5）を受験し一次試験から不合格となっています。

このデータは通信生と比較しても再現性があります。

通信生のデータは下記のとおり。

- ・偏差値60以上 二次合格：5/15（33%） 一次通過：7/15（47%）
（偏差値60未満の二次合格者：1名）

通塾生では偏差値60以上の二次合格者が67%であることを考えると、通塾生と通信生では合格率に2倍もの差を認めることとなります。

これらは、2019年だけでなく2018年においても全く同様の結果となっています（通塾生は高偏差値帯の合格率が低い点、通塾生と通信生の合格率に大きな差がある点）。

通塾生と通信生の合格率にこれほどの差を認める理由は正直わかりませんが、成績を伸ばすことはそれほど重要ではなく、塾生ページに従うことで、正しい「考え方と習慣」を身につけることが合否に大きな影響を与えていることが考えられます。

「考え方と習慣」を変えていくことは当然苦痛を伴うものですが、そこから逃げてしまうと、仮に模試の成績が伸びたとしても結局本番に通用しないことが明白です。

恐らく通塾生の大部分が厳しい環境であることを感じているかと思いますが、週3回の通塾、医学生講師による週1回の面談、また各種提出物のフィードバックによって、これだけの合否に直結する差が生まれていることは間違いないといえます。

塾生ページのすべての資料は「医学部に合格するために必要なこと」のみを記載しています。決して勝手な判断をせず、塾生ページの資料をしっかりと理解して実践してください。

その上で通塾生は医学生講師との面談による指示やフィードバックを素直に吸収して、考え方や習慣が少しでも彼らに近づけるよう努力してください。通信生は講師によるフィードバックが得られない分、より一層の自己管理によって塾生ページに従えるよう努力してください。

（ちなみに）

医学生講師の80%以上を当塾の卒業生が占めています。卒業生講師は、医学部に進学した卒業生の中でも考え方や習慣が際立って優れていた人のみを採用しています。また、卒業生講師の第3回全統記述模試の「平均」偏差値は68.1に達します。

彼らに少しでも近づけるよう必死に努力していれば、自然と医学部合格が近づくということがよくわかるかと思います。